

**平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》**

事業の概要	事務事業名	寿学園運営事業						担当部	健康福祉部			
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	長寿介護課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		13 高齢者福祉		4 高齢者の健康の保持と増進を図る					
		副目的										
	予算区分	款	3	項	2	目	2	大	2	中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市立寿学園設置条例、小牧市立寿学園運営規則										
	実施・運営方法	<input type="radio"/>	市が直接実施・運営			<input type="checkbox"/>	地域住民組織		<input type="checkbox"/>	一部又は全部委託		
		<input type="checkbox"/>	指定管理・外郭団体			名称:						
		<input type="checkbox"/>	NPO・その他			名称:						
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	65歳以上の市民に対して高齢者の健康増進及び一般教養の向上を促すとともに、高齢者の生きがいの一部として、また、出かけるためのきっかけとしての学園の存在を目指している。											
内容 (手段)	<p>市政、交通安全、生活関係の講演や生徒による発表会、プロによる演芸など、年間で11回の寿学園定例会の開催及び年1回の寿学園遠足を実施。 定例会における事前準備(契約事務、案内文の作成及び発送、各種講義の依頼、余興・遠足の受付及び関係事務)、当日の運営事務などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会 主に午前は講演、午後は余興(演芸、映画、発表会等)</li> <li>・遠足 長島温泉等</li> <li>・開催場所 定例会: 勤労センター、小牧市民会館 講演回数 11回</li> </ul> <p>【直接経費の主な内訳】 理事報酬 1,139千円 余興出演委託 1,665千円 バス借上 5,430千円 映画フィルム借上 84千円</p>											
受益者負担	無	内容										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,818	8,332	9,390	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,073	1,073	1,073
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計	千円	8,891	9,405	10,463	
	対前年比	%		105.7			
財源	一般財源	千円	8,891	9,405	10,463		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0		

業 績	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		寿学園生徒数	人	目標	2,990	3,010	3,010
				実績	2,865	2,826	
		講演回数	回	目標	11	11	11
				実績	11	11	
				目標			
	実績						
	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		寿学園代表行事(遠足)出席者数	人	目標	—	—	—
				実績	977	942	
皆勤賞表彰者数		人	目標	—	—	—	
			実績	192	182		

事業の自己評価 (一次評価)	事業目的の達成状況	寿学園を開催し、年11回の定例会の開催及び年1回の遠足を実施し、生徒の健康増進及び一般教養の向上を促しました。また、生徒数が伸び悩んでおり目標値に達していない。		
	事業を廃止・休止したときの影響	寿学園が開催できないので、寿学園生徒に対する健康増進及び一般教養の向上が図れなくなる。		
	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	居宅に閉じこもりがちな高齢者などに対し、介護予防や生きがいづくりを図るため必要ですが、高齢化率の伸びと比べて、生徒数が横ばいですので、周知方法を見直す必要がある。		
	今後の事業の方向性 (今後の取組み・改善計画等)	高齢化率は伸びているが、寿学園の生徒数は横ばいですので、学園入園チラシの作成や団長を通じてPRする等周知方法についてきめ細かく行う。また、寿学園についてのアンケートを実施していく。		

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)	
	判定理由	外部評価対象事業		